

幾春別川の歴史

History of Ikusyunbetsu River

新水路事業

幾春別川新水路事業

「幾春別川新水路事業」は石狩川との合流点で幾春別川と旧美唄川を合わせて合流点を下流に移し幾春別川下流域と旧美唄川流域の洪水被害の軽減を目的としています。

新水路事業

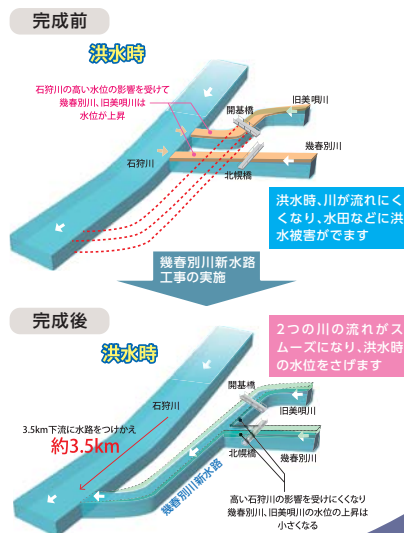
幾春別川新水路と石狩川合流点

幾春別川は昔、水位が高い上流で石狩川に合流していました。新水路事業は、幾春別川と石狩川の合流点を工事前よりも約3.5km下流(旧美唄川合流点からは、約4.5km下流)に移し替えるものです。用地補償を平成3年4月より開始し、工事は、平成4年度の河道掘削に始まり、平成19年3月に完成しました。



旧美唄川開基橋下流付近の水位低減効果

平成23年9月には、石狩川の高水敷にあるニューしのつゴルフ場が水に浸る規模の出水がありました。平成13年9月の同じ規模の出水と比べると、幾春別川新水路の完成により、旧美唄川の開基橋付近で、1m程度の水位(水面の高さ)が下がる効果がありました。



旧美唄川開基橋下流で約1.4m、幾春別川北根橋(道道)下流で約1.2mの水位を下げる効果があります。